

● リストの見方

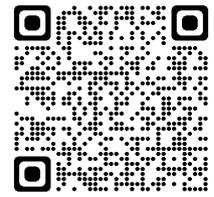
資料タイトル Title / 著者 Author	
所在&請求記号 Location & Call Number	
推薦者からのコメント Recommender's Comments	蔵書検索 QRコード OPAC QR code
蔵書検索ページURL OPAC URL	

- 展示図書は、借り出すことができます。気になった本を手にとってご覧ください。
貸出中の図書を予約したり、他キャンパスの図書を取り寄せたりすることもできます。
- ブックレビュー
展示図書は、東工大図書館蔵書検索で、展示図書のページを開くと、
図書館サポーターの推薦文を見ることができます。
リストに掲載したURL・QRコードから、ぜひご覧ください。
- ブクログ
東工大図書館でこれまで実施してきた展示で取り上げた図書を、
ブクログでご紹介しています。
こちらもあわせてご覧ください。
<https://booklog.jp/users/lidance>

社史の図書館と司書の物語：神奈川県立川崎図書館社史室の5年史 / 高田高史著

すずかけ台図書館2F-一般図書 016.2/Ta

古くは窓際社員のたまり場などと描写されることの多かった「社史編纂室」に、せっかく刊行されても図書館の端でひっそり眠りがちな「社史」。そんなイメージの社史にスポットライトを当てた図書室が川崎にあります。この本はその県立川崎図書館の司書による、社史の楽しみ方を伝える一冊。社史を通じて各社の特色のみならず業界や日本社会全体を読み解けるなんて知っていましたか？この本を読み終わるころには図書館の社史コーナー（大岡山図書館地下1階にもあります）に足を運びたくなっているかも…？

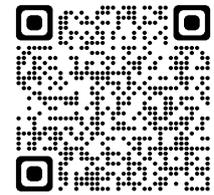


<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB22893465>

学芸員のための展示照明ハンドブック：博物館と美術館の照明に役立つポイント / 藤原工著

大岡山図書館B1F-一般図書 069.5/H

作品をじっくりと鑑賞する場であるミュージアム。その際に大きな役割を果たす「照明」に注目したことはありますか？作品は変えられないからこそ、「光」は人が手を加えることができる重要な要素です。日本美術、西洋美術や現代美術、その中にも油彩画、彫刻や工芸など様々な種類の作品があるなかで、それぞれの魅力を引き出しながらも損傷を最小限にする照明とは。この本を読めば美術鑑賞がより楽しくなること間違いなしです。



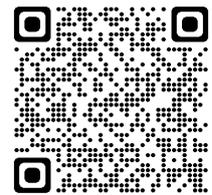
<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB15945911>

**Sapiens : a brief history of humankind / Yuval Noah Harari ;
[translated by the author ; with the help of John Purcell and Haim
Watzman]**

大岡山図書館B1F-一般図書 209/H,
すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫 : 洋書 209/H

著者ユヴァル・ノア・ハラリによって書かれた本書は人類の歴史と、人類がどのように進化して現在のような支配的な種になったのかについて語る。著者は人間の認知の進化というテーマに光を当て、私たちの社会がなぜ現在の形をとったのかを考えさせる。示唆に富む言葉に満ちた本書は、私たち人類がこの地球上でいかに短い時間を過ごしてきたかを感じさせ、謙虚な気持ちにさせてくれる。

In this immersive and engrossing book, Yuval Noah Harari talks about human history and how humans have evolved to become the dominant species we are now. The author sheds light on the subject of the evolution of human cognition and makes us think about how our society has taken on its current form. Filled with thought provoking words, this book provides us with a sense of how briefly we, as a species, have been on this earth, and provides a humbling experience.



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB22454476>

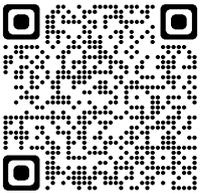
覇者の条件 / 司馬遷 [著] ; 市川宏, 杉本達夫訳

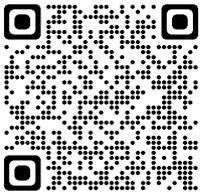
大岡山図書館B1F-リベラルアーツ資料 222.01/Si/1
すずかけ台図書館2F-リベラルアーツ資料 222.01/Si/1

「日本の歴史もわからないのに、中国の歴史書？」という声が聞こえてきそうだが、この本を単なる歴史書として読むだけではつまらない。時には、紀元前遙か昔から変わらぬ人間の心情に感慨をおぼえ、時には、身分関係なく、彼ら自身の命と矜持をかけた策略や覚悟に思わず迫力を感じてしまうだろう。筆者の司馬遷は、史記を完成させるために生き恥を晒す羽目になった不遇の人である。そんな彼の文章そのものにも強い意志と覚悟を感じずにはいられない。この作品をはじめとして、ぜひ全7巻を読破していただきたい。



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BN02187393>

羊と樅の木の人々 : マラムレシュ写真集 : Transylvania抒情 / みやこうせい写真・文	
大岡山図書館B1F-一般図書 382.391/M	
<p>私が1年間ヨーロッパ中を旅して最も印象に残った国の一つがルーマニアだ。ルーマニア北部マラムレシュ地方はルーマニアの中でも特に伝統的な生活が残っており、ルーマニア人の心のふるさととも呼ばれている。今なお伝統衣装を着た住民が木を組み合わせてできた教会に通い、自然と共生する生活を送っている。しかし著者は、マラムレシュは今急速に近代化が進んできていて伝統が失われつつあるという。この本はマラムレシュに魅せられルーマニア史の大きな転換点を含んだ40年間にわたりこの地域の生活取材してきた著者によるヨーロッパ最後の原風景の記録である。自然とともに素朴な生活を送る住民たちの姿がこの本には残されている。</p>	
https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BA82583174	

Quantum space : loop quantum gravity and the search for the structure of space, time, and the universe / Jim Baggott	
大岡山図書館B1F-一般図書 421.3/B	
<p>現代物理学は、大きな物質に対する一般相対性理論と小さな物質に対する量子力学理論、といった2つの理論に恵まれている。しかし、これらは空間と時間に関する2つの異なる解釈であり、現在必要とされているのは重力の量子論である。著者ジム・バゴットは本書の中で、ループ量子重力理論と呼ばれるまさにそのような理論について語っている。わかりやすい言葉で書かれた本書は、物理学に興味のある者にとっては必読である。</p> <p>The physics of today is blessed with two successful theories - the theory of general relativity for large scale matter, and the theory of quantum mechanics for small scale matter. However, these are two separate interpretations of space and time, and the need of the hour is for a quantum theory of gravity. The author, Jim Baggot talks about exactly one such theory called "Loop Quantum Gravity", in this well researched book. Written in easy to understand language, this book is a must read for all those who are interested in physics.</p>	
https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB27569114	

有機化学美術館へようこそ：分子の世界の造形とドラマ / 佐藤健太郎著

大岡山図書館B1F-一般図書 437/Sa

有機化学はさながら美術館のよう。個性的で面白い分子たち、化学者たちのドラマ、分子の力が切り開く未来、そこには人々の想像とは異なる美しい世界が広がっています。「化学というと、小さな原子や分子が延々とくっついたりはなれたりしているだけの地味な学問を想像するだろうか？」そう想像する人にこそ、手に取っていただきたい一冊です。ひとたび今までのイメージを忘れ、この世界を覗いてみてはいかがでしょうか。



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BA82172282>

Sad animal facts : baby talk / Brooke Barker

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫：洋書 480/B

『せつない動物図鑑』私たちが知らなさそうな動物の赤ちゃんの「悲しい話」や「意外なところ」について書かれている。例えば、生まれたてのゾウの赤ちゃんは自分の鼻をうまくコントロールできない、ラクダの赤ちゃんにはこぶがない、カメは自分の子供を育てない、など。説明文は初級から中級レベルの簡潔な英語で、かわいいイラストと一緒に描かれている。気楽に英語のスキルアップをしたい人にも、動物の豆知識を身に付けたい人にもおすすめ。

A picture book about some "sad stories" and "unexpected facts" of animal babies, for example, newborn elephants have no control over their trunks, baby camels don't have humps, and no species of turtle raises its young. Very simple texts with many cute pictures. For those who want to read a cute book or learn some surprising animal facts, please feel free to read it.



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/TT00017753>

ウイスキー博物館

大岡山図書館B1F-一般図書 588.574/U

皆さんも大学進学後お酒を嗜んだことがあるかもしれない。本書はその中でも、「ウイスキー」について様々な側面から語ってくれる。その製法はもちろん、文化的な側面、特に日本にどのようにして受け入れられてきたかを当時を知る人たちの対話を通じて語ってくれるのは、一読の価値があることだと考える。ウイスキーが好きな人は酒の肴として、そうでない人もこれから一緒に歩んでいくこととなるお酒についての教養として、一度読んでみてはどうだろうか。



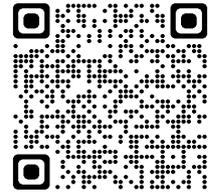
<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BN00763711>

ピーナッツと谷川俊太郎の世界 : SNOOPY & FRIENDS /

チャールズ・M・シュルツ, 谷川俊太郎著

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫 : 和書 726.1/Sc

ピーナッツは、スヌーピー、チャーリーブラウン、ウッドストックなどのキャラクターが登場する漫画のタイトルです。ピーナッツの作者はシュルツさんで、谷川俊太郎さんが、日本で最初に翻訳を行いました。この一冊を読むと、登場するキャラクターの個性や関係性もだんだんわかってきます。1ページごとの谷川俊太郎さんの解釈も素敵です。そして、スヌーピーがなんととっても可愛い。ときどき深いことも言っていたり…



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB16812800>

NHKクラシックミステリー名曲探偵アマデウス /

『NHKクラシックミステリー名曲探偵アマデウス』制作チーム著 ; 野本由紀夫監修

大岡山図書館B1F-一般図書 760.8N

(都内大学某所)学生A「クラシック音楽！？…いや名前は知っているけど、あんな古臭いもの聞いてもね…」学生B「古臭いなんて失礼な！！クラシック音楽の中でも名曲といわれているのは時代を超えて私たちに感動を与え続けているんだよ！！…ねえ聞いている！？」学生A「ああごめん…ところで、名曲はなんで名曲なの？何か秘密が隠されているのかな…？」学生B「その秘密がこの本に書いてあるよ！！この本を読めばすぐにでも名曲を聴きたくなってしまはず！！」



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB04071996>

文章読本 / 三島由紀夫著

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫 : 文庫・新書 816/M

この本は、三島由紀夫が森鷗外、谷崎潤一郎、ゲーテなど、自身が高く評価している文豪達の文章を批評、分類したものです。様々な文豪が体系的に解説されており、さらには三島自身の文学論についても触れられています。これを読むうちに読者は「普通読者（レクトール）」から「精読者（リズール）＝ほんとうに小説の世界を実在するものとして生きていくほど、小説を深く味わう読書」へと導かれていきます。学校では教えてくれない文学の魅力を学んでみましょう！



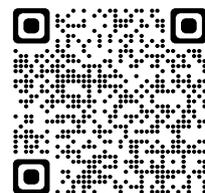
<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB30171069>

八木重吉のことは : ころよ、では行っておいで /

澤村修治企画編集・著 ; よこてけいこ絵

大岡山図書館B1F-一般図書 911.56/Sa

八木重吉は大正末期の詩人のひとりである。英語教師をしながら詩を書き、生前に出した詩集はわずか1冊、29歳で生涯を終えたため広く世に知られることはなかったが、詩人高村光太郎は彼の詩を「不朽」で「いかなる世代の中にあっても死なない」と評価している。代表作である「素朴な琴」を「おそらく日本語で書かれた最も美しい四行詩である」とする詩人もいる。ぜひ読んでほしいのが詩集『秋の瞳』の序文だ。心に寂しさを抱えながらも身近な美しさを素朴な言葉で綴る彼の詩は、現代を生きる私たちの心にも寄り添ってくれる。



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB14225961>

恋する伊勢物語 / 俵万智著

大岡山図書館B1F-一般図書 913.32/Ta

高校生の時に国語の先生におすすめてもらった、私のお気に入りの本です。この本では、伊勢物語がリズムカルに紹介されています。といっても、堅苦しさとは無縁の本です。伊勢物語の現代語訳を担当した俵万智さんによって、平安時代の恋愛が面白く描かれています。現代とは違いすぎる昔の文化に驚いたり、身分違いの切ない話に悲しくなったり…「学生時代、古典が苦手だった…」という人にこそ読んでほしいです。

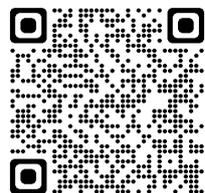


<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BN0770896X>

三日間の幸福 / 三秋継 [著]

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫 : 文庫・新書 913.6/M

もし寿命を買い取ってもらえるとしたら、あなたは どうしますか？もしその査定価格が自分が想像していたより遥かに安かったら……。人生に絶望して寿命の大半を1年につき1万円で買い取ってもらったクスノキは、残りの人生でやり残したことを実行しようとするも、どれも空回りして失敗してしまいます。それでも寿命が残り2か月を切った頃、自分にとって一番の幸せが何なのかに気づき奔走します。彼にとって本当の幸せとは何なのか。ぜひ自分にとっての幸せについても考えながら読んでみてください。

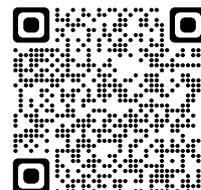


<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB16636581>

愛なき世界 / 三浦しをん著

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫：和書 913.6/M

「愛なき世界」を生きる植物にすべてを捧げると決めた大学院生の本村、そしてその本村に恋する洋食屋見習の藤丸の2人を中心に物語は進んでいきます。シロイヌナズナの研究に情熱を捧げる本村の周りには、様々な植物を「愛」する人達が登場します。物語を楽しく読み進めているうちに、植物の世界への興味を育ててくれる本です。植物に全く詳しくない私でも、顕微鏡をのぞいた時のわくわくする気持ちにはとても共感しました！



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB26786219>

十代に共感する奴はみんな嘘つき / 最果タヒ著

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫：和書 913.6/Sa

女子高生のカズハの視点から、恋愛やクラスメイト、家族との関係など十代の日常について語られた作品です。特徴的な文体でカズハの思考がそのまま描かれているため、息継ぎなしで語りかけられているかのような情報量に最初は面食らうかもしれません。本文を読み終えた後は、カズハの思考にどのくらい共感できたかも考えながら、あとがきまで読んでみてください。十代の終わりを迎えた（もしくは終わりに近づいている）大学生にこそ読んでみてほしい一冊です。

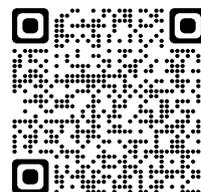


<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB23622860>

図書館の魔女 / 高田大介著

すずかけ台図書館1F-ペリパトス文庫：文庫・新書 913.6/Ta

少年キリヒトは、図書館に暮らす「魔女」マツリカに仕えることになる。マツリカは、膨大な知識と優れた頭脳を持ち国の戦略をめぐらせる一方で、自分の声を持たない少女だった。そんな中、隣国ニザマの侵略の手が忍び寄ってくる…読み応えのあるファンタジーを探し求めて出会った本です。言語学の膨大な知識に基づいて語られる緻密な物語は、圧倒させられること間違いありません。

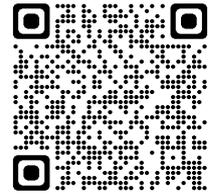


<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BB22177740>

冬：歳時記 / 山本健吉編

大岡山図書館B1F-集密：一般図書 W021139

本書は昭和期を中心に活躍した小説家、詩人、民俗学者など50余名による、「冬」をテーマとした随筆集である。冬の自然の情景、人々の営みの情景が鮮やかに描かれる。私は特に井伏鱒二氏の「炬燵（こたつ）の話」が印象に残った。炭や炭団（たどん）を用いた炬燵には、「しっとり」していて「甘み」のある温もりがあるとのことである。平成生まれの私は電熱線の炬燵しか経験したことがないため、いつか炭や炭団の炬燵に入ってみたいものである。



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BN01960059>

青年の医学 / 能勢義一著

大岡山図書館B1F-集密：一般図書 W031914

太平洋戦争真っただ中の1943年に医学博士である能勢氏によって著された。80年の年月を隔てて、今日の私たち市民がもつ健康や医療に関する知識（あるいは常識）と本書が紹介する内容は、通じるところもあれば異なるものもある。医学の進歩が感じられ興味深い。また戦時下という特殊な社会的背景もあって、空襲への備えについても記述があり、当時の読者（市民）が何に関心を寄せていたかがうかがえる。



<https://topics.libra.titech.ac.jp/recordID/catalog.bib/BA5689630X>